

講義名	対1)ソーシャルワーク総論			授業形態	
担当教員	加藤 曜子	開講期・曜日・時限	前期 木曜日 3時限		
		単位数	2	履修開始年次	2年生

主題と概要

社会福祉士国家資格取得のための必須科目であり、将来福祉関係、対人援助の就職を希望する人にとっては受講しておくべき科目となります。

社会福祉士の役割について理解をする
 相談援助の概念と範囲を理解する
 ソーシャルワークの形成過程を理解する。
 相談援助の理念を理解する

到達目標

生活困難な状況にかかわる対象者にどのような生活課題を持つのかを整理し、個別に対応するためには、その背景や状況を把握し書きだしていく必要ができてきます。

目標としては、1. 社会福祉士の役割と意義を説明できること、2. 相談援助にかかわる専門職の範囲と役割及び価値、倫理について理解し、説明することができる。3. 病院、学校、職業、市町村児童相談所、司法分野などについて関心を高めること、4. 社会福祉ニーズをかかえた人々をソーシャルワーク（相談援助）の際の専門的な視点や留意事項、方法などを説明できる。その理念と役割について深く理解をする。を旨とします。

提出課題

課題はその都度提出してもらいます。
 最終回は、1600字でのレポートを提出してもらいます。レポート登録をみておいてください

課題（レポートや小テスト等）に対するフィードバックの方法

授業前に、前回授業のフィードバックをいたします。課題について再度確認をする形をとります。また知識については小テストを実施しその理解度を確認します。

評価の基準

対面授業においては、出席回数、および授業態度が重要です。5回以上の欠席は認めません。

毎回の課題で答えた内容について、評価します。中間テストを予定します。
 また最終レポートについても評価します。

履修にあたっての注意・助言他

履修は、欠席なく受講してください。また出席者同士でのディスカッションやグループワークも実施する予定です。

教科書

.なし.

参考図書

.心のケアが必要な思春期・青年期のソーシャルワーク、	西隈亜紀	中央法規	2,600	978-4-8068-5051-0
.相談援助の理論と方法、	社会福祉士養成講座編集委員会	中央法規	2600	978-4-8058-3254-7

その他

資料は、授業時に用意します。 児童のソーシャルワークでは、児童虐待死 川崎二三彦 岩波新書が、現在の取り組みについて考えるきっかけになるかと思います。

授業計画

1. 社会福祉士、精神保健福祉士の役割と意義ーソーシャルワークの概要
2. 現代社会と地位い社会ー福祉問題とソーシャルワーク（対人援助、グループワーク、）
3. ソーシャルワーク・相談援助の概念
4. ソーシャルワークの構成要素を理解する
5. 相談援助の理念 ソーシャルワークの価値
6. 相談援助の理念 権利擁護、利用者自己決定
7. 相談援助の理念 エンパワメント、自立
8. 相談援助の理念 ノーマリゼーション
9. 専門職の倫理 ジレンマ
10. 専門職の倫理 倫理綱領
11. ソーシャルワークの形成過程
12. ソーシャルワークの形成過程
13. ソーシャルワークの形成過程
14. ソーシャルワークの形成過程
15. 総括

授業形態（アクティブ・ラーニング）

<input type="radio"/> ア：PBL（課題解決型学習）	<input type="radio"/> イ：反転授業（知識習得の要素を授業外に済ませ、知識確認等の要素を教室で行う授業形態）
<input type="radio"/> ウ：ディスカッション、ディベート	<input type="radio"/> エ：グループワーク
<input type="radio"/> オ：プレゼンテーション	<input type="radio"/> カ：実習、フィールドワーク
<input type="radio"/> キ：その他（A-L型であるけども、以上の項目のいずれにも該当しない場合）	

準備学習（予習・復習等）の具体的な内容及びそれに必要な時間

予習については、シラバスにおいて書かれているテーマについて、そのキーワードについて自分なりに調べる作業を？ 時間とする。
 授業の資料については、よく読み込み、課題をメールで提出する。課題についても時間をかけて書いてください。
 復習は、本、参考などを参考にして、2時間学んでおくこと。

なお、最終レポートについても時間外での8時間を費やし、書いてもらうことになります。

卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連

双方向授業の実施及びICTの活用に関する記述

資料、課題からのフィードバックを試みます

実務経験の有無及び活用

実務経験あり。司法ソーシャルワーク経験及び、実務へのスーパービジョンを実際の福祉の現場で行っているため、活用できる

備考